

カロム倶楽部 第35号

2006/6/4 発行:日本カロム協会 広報渉外部会

〒522-0063 滋賀県彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3F TEL(0749)22-7522/FAX(0749)22-9018

http://www.biwako.ne.jp/~carom E-mail carom@pop.biwako.ne.jp

お待ちかね！レーティング・ポイント・ランキング発表

上位陣に大きな変動は無し。秦滋氏大躍進！TOP10目前！

T戦制覇の奥居氏は、4連勝で裕司氏に迫る！！

秦氏、10勝2敗で101ポイント獲得。角田兄弟、五分の星勘定ながらTOP10死守。

魔術師井戸氏、T戦準優勝もポイント伸ばせず。小生(安田)は、1頁目前！！

第35回順位	第35回レーティング	氏名	第34回順位	第34回レーティング	第33回	第32回
1	1,489	門野裕司	1	1,523	1	1
2	1,458	奥居聡	2	1,431	2	2
3	1,360	山崎匠	3	1,360	3	3
4	1,351	門野純也	4	1,351	4	7
5	1,315	伊藤明雄	5	1,315	5	4
6	1,296	鈴木智也	6	1,296	6	5
7	1,292	門野勉	9	1,259	7	8
8	1,259	角田浩司	8	1,287	14	25
9	1,252	角田克司	7	1,290	10	11
10	1,249	井戸真也	11	1,207	8	6

総会後の定例競技会。本大会予選リーグ免除のポイントも懸かっている。トーナメント戦は、久々に奥居氏が征す。準優勝は井戸氏。秦氏は、等氏・勉氏・角田兄弟に勝利。ランキングを大幅に上げた。上位陣は星の潰し合いとなり、ポイントを伸ばせずに終わった。和泉さん、中川氏、筒井氏、田島氏らの久し振りの参戦も混戦模様。拍車を掛けた。初陣田沢さんは、2勝8敗と負け越しはしたが、侮れない刺客と筆者はみる。
二週間後は、いよいよ19回日本選手権大会。本番の檯舞台で、最後に笑うのはいったい誰なんだ！

第35回順位	第35回レーティング	氏名	第34回順位	第34回レーティング	第33回	第32回	第35回順位	第35回レーティング	氏名	第34回順位	第34回レーティング	第33回	第32回
11	1,232	秦 滋	23	1,131	17	15	31	1,084	森下 博	31	1,084	33	33
12	1,213	門野 等	14	1,176	24	13	32	1,077	岡村博之	33	1,077	27	27
13	1,198	柴田宜秀	12	1,198	13	14	32	1,077	北川 豊	33	1,077	35	34
14	1,196	奥居美加	10	1,212	11	10	34	1,061	筒井一男	31	1,084	33	42
15	1,189	門野 隆	13	1,189	9	9	35	1,060	赤井康彦	35	1,060	36	35
16	1,171	門野 悟	15	1,171	15	16	36	1,055	武田英希	36	1,055	37	36
17	1,161	小水 元	16	1,161	16	17	37	1,054	奥居由紀	37	1,054	38	37
18	1,146	疋田真奈人	17	1,146	18	18	37	1,054	竹腰裕紀	37	1,054	38	37
18	1,146	高橋 靖	17	1,146	18	18	39	1,050	古川慎次	39	1,050	12	12
20	1,144	疋田 敏	20	1,144	21	21	40	1,047	安田佳代子	40	1,047	40	39
21	1,143	小川睦博	21	1,143	22	22	41	1,043	馬淵克一	41	1,043	41	40
22	1,138	田島一成	17	1,146	18	18	41	1,043	梶塚浩貴	41	1,043	41	40
23	1,134	辻 克治	22	1,134	23	23	43	1,040	大橋文子	43	1,040	43	43
24	1,126	芝田 清	24	1,126	25	24	44	1,035	古川正夫	44	1,035	44	44
25	1,119	高橋 滋	25	1,119	27	27	45	1,034	疋田なつき	45	1,034	45	45
26	1,116	八田 猛	26	1,116	29	29	46	1,031	田中久由	47	1,031	47	47
27	1,106	久木 寛	27	1,106	30	30	47	1,024	中川一志郎	46	1,033	46	46
28	1,102	若林良仁	28	1,102	31	31	48	1,020	川合四郎	49	1,020	49	49
29	1,100	梶塚浩三	29	1,100	32	32	49	1,018	若林 拓	50	1,018	50	50
30	1,098	古川弘樹	30	1,098	26	25	50	1,017	和泉フサ子	48	1,022	48	48

第35回 順位	第35回 レーティン グ	氏 名	第34回 順位	第34回 レーティン グ	第33回	第32回	第35回 順位	第35回 レーティン グ	氏 名	第34回 順位	第34回 レーティン グ	第33回	第32回
51	1,014	安田良介	63	986	78	77	101	942	川上 徹	100	986	99	99
52	1,011	勝間宥一郎	51	1,011	51	51	102	941	久木美智代	101	1,011	100	100
52	1,011	井戸美沙希	51	1,011	51	51	103	940	岡 祥介	102	1,011	101	101
54	1,009	梶塚美稀	53	1,009	53	53	103	940	井戸大志	102	1,009	101	101
55	1,007	田中利和	54	1,007	54	54	103	940	梶塚美代子	102	1,007	101	101
56	1,004	北村篤司	55	1,004	55	55	106	938	河嶋成浩	105	1,004	104	105
57	1,002	河嶋浩二	57	1,002	56	56	107	937	長谷川智之	106	1,002	105	106
58	1,000	福富敬雄	55	1,004	122	89	108	934	熊川三興	107	1,004	106	107
58	1,000	小出 努	58	1,000	57	57	109	933	横田美代子	108	1,000	107	0
58	1,000	中川敏郎	58	1,000	57	57	110	930	門野佑紀	115	1,000	115	116
58	1,000	矢田嘉彦	58	1,000	57	57	111	927	浜口泰子	109	1,000	109	110
62	999	教野正和	61	999	60	60	112	921	辻本龍男	110	999	110	111
62	999	門野大河	61	999	108	109	113	920	湊 加津夫	111	999	111	112
64	998	浜口浩一	75	983	83	82	113	920	秦美代子	111	983	111	112
65	992	大須賀貴幸	76	981	72	107	115	919	馬淵有加里	113	981	113	114
66	984	森 豊	64	984	61	62	116	915	川上 智	114	984	114	115
66	984	遠藤年生	64	984	61	62	117	913	井川良一	115	984	115	116
66	984	鏑田一治	64	984	61	62	117	913	馬淵紗也加	115	984	115	116
66	984	前田 修	64	984	61	62	119	910	古川貴朗	118	984	118	119
66	984	鬼沢一彦	64	984	61	62	120	908	浜口知奈	119	984	119	120
66	984	西澤清隆	64	984	61	62	121	902	山本喜信	121	984	120	121
66	984	奥居雅彦	64	984	61	62	122	901	若林伸亨	122	984	121	122
66	984	田中ふじえ	64	984	61	62	123	899	小川千歳	123	984	122	123
66	984	横山秀也	64	984	61	62	124	898	門野 修	124	984	124	124
66	984	深田 蕃	64	984	61	62	125	897	野口しのぶ	125	984	74	60
66	984	林 良治	64	984	61	62	126	896	井川雅子	126	984	125	125
77	981	上田旨宏	76	981	72	73	127	893	井川裕貴	127	981	127	126
78	980	河合大樹	78	980	74	74	128	891	篠田耕太	128	980	128	127
79	979	篠原重美	79	979	76	75	129	887	梅田 零	129	979	130	129
80	977	山口 篤	80	977	77	76	130	886	井川達貴	130	977	131	130
81	976	石川雅一	81	976	78	77	131	882	平井 治	132	976	133	132
82	975	堤 周徳	82	975	80	79	131	882	久木 武	132	975	133	132
82	975	松田充弘	82	975	80	79	133	876	馬淵加寿美	134	975	135	134
84	974	馬淵加奈恵	84	974	82	81	134	875	梅田拓未	136	974	136	135
85	970	北川敦久	85	970	84	83	135	872	鈴木則成	137	970	137	136
85	970	高橋勝巳	85	970	84	83	136	861	角田龍也	120	970	126	147
87	968	森 城斗	87	968	86	85	136	861	新木泰子	138	968	138	137
87	968	森 海斗	87	968	86	85	138	857	太田英史	139	968	139	138
89	966	高原淳志	89	966	88	87	139	855	松本伸次	140	966	140	139
89	966	後藤治郎	89	966	88	87	140	853	三島和史	141	966	141	140
91	959	井川ともみ	91	959	90	90	141	850	林 三郎	142	959	142	141
91	959	井川さとみ	91	959	90	90	142	847	門野文哉	134	959	142	141
93	956	田沢 光子	0		0	0	143	846	松原清美	143	952	144	143
94	952	柳 圭二	93	952	92	92	144	843	猪飼弘実	144	952	145	144
94	952	古川夏帆	93	951	92	92	145	821	柴田久美子	145	951	146	145
96	951	平井芳治	95	950	94	94	145	821	大石よう子	145	950	146	145
97	950	浜口ふゆ	96	946	95	95	147	812	山崎房子	147	946	129	128
98	946	西野幸子	97	944	96	96	148	794	清水健一	148	944	148	148
99	944	荒木正義	98	944	97	97	149	754	寺嶋宏展	150	944	149	150
99	944	久木 茂	98	942	97	97	150	745	若林武和	149	942	150	149
							151	731	木村浩一郎	151	731	151	151

彦根城でござる！ カロムde ART~2006

「これ以上何も言うことはない！」

それほど素晴らしい五月晴れの5月21日、彦根城山周りで、彦根青年会議所さん主催の「彦根城でござる！～お城de ART~2006」が開催され、私たち日本カロム協会も、選手権大会のPRも兼ねて、「カロム体験コーナー」としてブースを出展しました。

レポーターは大須賀事務局長です。

カロム体験コーナーin写生大会 ～青空の下でするカロム～

前日までの天気が嘘のように晴れ渡った5月21日。彦根青年会議所が主催する写生大会の会場内で、今年もカロム体験コーナーを開設した。カロム自体の普及拡大と、間近に迫った第19回カロム日本選手権大会のPRをねらった活動である。



昨年までは彦根城博物館横で開催していたが、来場者の導線からはずれているということで、今年は天秤櫓に近い鐘の丸広場を会場にした。開催前は、鐘の丸広場も導線からは少しはずれているように思っていたが、そこはカロムをするのにとても良い場所だった。

五月晴れという言葉がぴったりのすがすがしい青空の下、木漏れ日の射す会場でカロムを楽しむことはとても気持ち良く、贅沢な時間と空間の使い方だと実感した。午前中こそ来場者はまばらだったが、午後からは多くの来場者があり、閉会時間間際には用意していた6台のカロム盤が全て埋まっている状態だった。

遠来の観光客の方は、「これがカロムですか。テレビで見たことがあります。」と興味深げに遊んで頂いた。また、この4月から就職で九州から湖南市に引っ越してきた男性も友人とジュースを賭けてカロムの真剣勝負に興じて頂いた。ルールが単純で誰でも直ぐに楽しめるカロムは、またもや多くの人達を虜にしてしまったようだ。写生を終えた親子もたくさん訪れて頂き、更なるコミュニケーションに一役かったのではないだろうか。



あっという間に終了の時間となってしまう、実際カロムに触れて頂いた方はごく限られた人数であったと思う。しかし、こうした普及拡大の活動は、テレビや新聞などに比べて量的には限定されるものの、質的にはとても濃いものである。やはりカロムは実際に遊んでもらわないとその楽しさ、おもしろさは伝わらない。

この体験コーナーを開設するに当たりご協力頂いた協会メンバーの皆さんと彦根青年会議所の皆さんに心から感謝致します。

季節と天候が良ければ、カロム協会の定例会をこうしたオープンなスペースで行ってみるのもおもしろいかも知れない。きっとカロム協会の良いPRになるだろう。

それよりも何よりも、木漏れ日の下でやるカロムは非常に贅沢な遊びだと解ったから、また皆でやってみたい、というのが本音である。

2006年度通常総会開催 事業計画・予算など承認

4月9日(日)、彦根市の文教スタジオコンベンションホールにて、「2006年度通常総会」を開催した。

大須賀事務局長の進行により、冒頭、奥居聡会長が「カロム普及と底辺の拡大、19回日本選手権大会成功に向けての意気込み、会員各位の積極的な参画に注力したい」旨、あいさつを述べるとともに、協会会員の協力を促した。



引き続き、濱口浩一さんを総会の議長に選出、議案審議に入り、2005年度事業報告、同収支決算報告、2006年度事業計画案、同収支予算案を満場一致で可決承認した。

総会終了後は、定例競技会を開催した。

今競技会で、選手権大会シングルの部のシード権が決定されるとあって、爽やかな緊張感が張り詰めていた。



カーリング☆カロム 極秘情報を入手!? CURLING CAROM

前回実行委員会に於いて、事業部長欠席指名の上にネーミング先行で決定された新ゲーム。

現在、(株)奥居、早川工芸(株)らのスタッフとの間で綿密なる協議を経て、鋭意製作中です。

その特長は・・・

- ①従来のカロム盤の2倍の大きなフォルム
- ②トリノでの熱戦を彷彿とさせるスノーホワイト・ブルー・レッドのコントラスト
- ③アルミ板と特殊ラミネートフィルムを使用し、氷上のチェス「カーリング」を再現した安定した滑り etc 盤の完成が待たれるところですが、ルールが確定してないのがやや苦しい?

エキシビジョン用として、一人でのトライアル向けと対戦向けのルール案がありますが、完成次第近日中に、委員会でのお披露目の中で確定させたい。

(大会実行委員会 事業部長 濱口浩一)



話題作のダ・ヴィンチ コード 風に言えば、「事業部長は、そのトリコロールのきらめきに、何を仕組んだのか。」みたいな感じでしょうか!?

(写真はイメージです。カーリング・カロムではありません)

Study: カロムのパック、赤と青(緑)のような2色のコントラストのことは、ビコロール [bicolore] と言います。

直前徹底解説! 『10秒ルール』

19回大会が目前だ。定例競技会に来られない常連も、今年初めてエントリーするルーキーも皆、最終調整に余念がないと推察する。

ショットの正確さやチカラ加減、アツと言わせるクッション・テクニック。檜舞台に備えて技に磨きを掛けることも大事だが、ルールについてもおさらいしておこう。

昨年18回大会では、準決勝以降の試合で、「10秒ルール」が守られていないように感じられたことは、選手権終了後のカロム倶楽部でも採り上げた。

19回大会では、「10秒ルール」について厳しく適用する旨、参加選手に通知されるとのことだ。

井戸真也大会実行委員会競技部会長兼審判長からのコメントは以下の通りだ。

シングルス・ダブルスとも、予選リーグ・決勝トーナメ

ントという試合形式とルールは、基本的に従来通り。予選リーグは、グループ内総当たりで上位3名(チーム)が決勝トーナメント進出となる。試合時間は1試合5分間。但し、決勝トーナメント各クラス準々決勝戦からは試合時間は無制限となる。決勝戦のみ3試合勝負となるがその他は全て1試合のみ。予選リーグ・決勝トーナメントを通じ全ての試合で、試合開始時より「10秒ルール」を厳しく適応する。「10秒ルール」とは、【自分の順番が回ってきてから10秒以内に打たなければ反則となり、次の人に順番が回る】ことを言う。

18回大会では準決勝以降、10秒ルールを守らないスロープレーが目立ち、年に一度、カロムの頂点を決するにふさわしい大会に水を差したことは非常に残念であった。今回は、対戦相手、多くのギャラリー、そしてプレイヤー自身も皆が納得して勝者に敬意を表し、心から祝福の拍手を贈れるような、ルール厳守の中での好ゲームを期待したい。審判スタッフもスキルを向上させて大会に臨む予定であるが、会員各位にも、率先したルールの遵守はもちろんのこと、スロープレーが見られる選手には、指導的立場からルール遵守を促して頂きたい。

カロムは二度と同じ局面がないゲーム。それだけに瞬時の判断力は実力の大きな要素でもある。ルール厳守を促し、真のチャンプを決したい。

選手権大会運営スタッフ 【シングルス審判のお願い】

第35回レーティング・ポイントが1,001ポイント以上の方で、選手権大会シングルス部にエントリーの方は、予選リーグが免除されます。但し、シングルス予選リーグA・Bクラスの審判のご協力をお願い致します。

詳しくは、井戸競技部会長兼審判長まで。

定例競技会のご案内

日時:2006年9月3日(日)

13:30~16:30

(受付13:00~)

会場:文教スタヂオ5Fコンベンションホール

参加費:300円(ひとり)

(おつりの要らないように小銭をご準備願います)
芸術・読書・美食そして、カロムの秋ですぞ!

今から予定に入れておいて下さい!

ふれしりくしよつと

サムライブルーの荒ぶる魂の叫びは、ゲルマンの峰にこだまするだろうか。赤いストライカーの乾いた響きは、400年の赤鬼魂よりも紅いかもしれない。

この小さな地球の上で、ほぼ時を同じくして、No.1を決する戦いが始まろうとしている。そのどちらにも言えることは、女神は勝者にも敗者にも微笑んでくれることだと僕は思っている。そして、ほんの少しだけ長かった方が勝者になれるということ。ライバルはロニーでもクラニツァール親子でも暑さでもない。さあ、青い侍の左足も赤鬼の右手も、己にうち勝って輝く頂点をめざせ!